

グリーン・トランスフォーメーションリーグ運営事業

産業技術環境局環境経済室

令和5年度予算額 **16 億円** (**新規**)

事業の内容

事業目的

経済産業省が令和4年2月に公表した「GXリーグ基本構想」にて、2050年のカーボンニュートラル実現を見据えて経済と環境の好循環を作り出す観点から、脱炭素にいち早く移行するための挑戦を行い、国際ビジネスで勝てる企業群を生み出すための仕組みとして「GXリーグ」を令和5年度から本格稼働することを示しました。基本構想に賛同する事業者440社とともに実施した「GXリーグ」の本格稼働に向けた議論・実証試験を踏まえ、令和5年度は「GXリーグ」の本格稼働の実施を目的とします。

事業概要

GXリーグに参画する企業それぞれがGXリーグ内で実施する様々な取組について、活動計画の検討や規程類の整備、事務的な補助等を行う事務局を設置します。

また、本格稼働初年度にあたる令和5年度は、自主的な排出量取引に必要な企業毎の排出量実績・目標値や、企業の脱炭素移行戦略やその取組状況等を格納及び開示するためのデータベース及びシステムの運用及び整備を行います。

加えて、GXリーグに参画する企業も含む国内の脱炭素に取り組む企業が、カーボン・クレジットの売買やGXリーグ企業間での目標値の超過削減価値を売買する際に必要なカーボン・クレジット市場について、その環境整備のためのシステム実証等を行うとともに、海外クレジットの将来的な取り込みや、海外市場との連携を通じた流動性の確保等のための調査を行います。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



成果目標

令和5年から令和12年までの8年間の事業であり、最終的には、GXリーグに参画している企業数が1,000社となることを目指し、それらの事業者の排出量削減の取組の拡大により、令和12年度のNDCの達成（温室効果ガス排出量を平成25年度比で46%削減）を目指します。また、GXリーグを通じた、企業による自主的なルールメイキングを進め、企業による新たな市場創造に向けた投資の拡大を目指します。